FANCL

第26期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

あなたを想うサイエンス。

FANCL

ファンケルの企業活動、商品作り、サービスは、
人を想う気持ちから全てが始まります。
あなたのことを想い、あなたの美しさ・健やかさのために、
あなたのニーズを商品化させる技術力。
あなたを想う気持ちが、
技術を導き、技術を磨き、サイエンスとなります。
「あなたを想うサイエンス。」
この想いが、ファンケルの企業活動の全ての原点です。

ファンケルは、このスローガンのもと、
真に価値ある商品・サービスを提供してまいります。

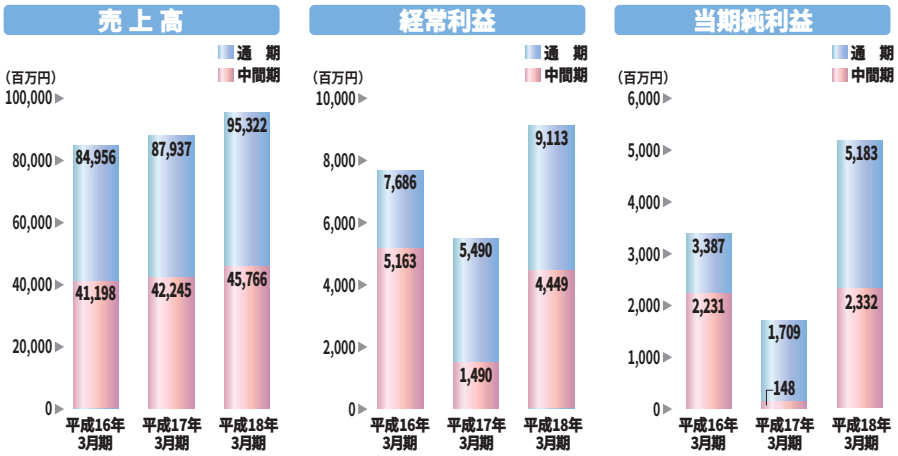
■財務ハイライト

（単位：百万円）

連結	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期
売上高	84,956	87,937	95,322
経常利益	7,686	5,490	9,113
当期純利益	3,387	1,709	5,183
１株当たり当期純利益（円）	154.57	80.29	242.56
総資産	78,479	79,416	85,147
株主資本	65,613	66,203	71,405

単体	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期
売上高	66,448	69,170	74,628
経常利益	5,906	3,907	5,833
当期純利益	2,602	1,860	2,848
１株当たり当期純利益（円）	118.80	87.40	133.30
総資産	65,900	65,847	68,554
株主資本	55,865	56,633	59,464

業績の推移（連結ベース）



■株主のみなさまへ

代表取締役 社長執行役員　藤原謙次

第26期（平成17年４月～平成18年３月）のファンケルグループの連結決算についてご報告申し上げます。

当期の連結業績について

当期のわが国経済は、企業収益の改善を背景に民間設備投資の増加や個人消費に幾分の明るさが見え始めるなど、緩やかな回復傾向となりました。化粧品業界は、スキンケア製品が好調に推移し、全体的に堅調な伸びを見せております。健康食品業界は、「コエンザイムQ10」や「α-リポ酸」などのブームにより、市場の拡大、競争の激化が顕著となっております。

当期の売上高は、主力事業である化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が店舗販売を中心に好調に推移したことにより95,322百万円（前期比8.4%増）、経常利益は、利益率の高い化粧品関連事業が好調に推移したことおよび広告宣伝費の効率化を図ったことなどにより9,113百万円（前期比66.0%増）、当期純利益は5,183百万円（前期比203.2%増）となりました。

第一次中期三ヶ年経営計画の進捗

当グループは、「もう一度成長を取り戻す」をテーマとした第一次中期三ヶ年経営計画（CCプラン）に基づき、成長力と収益性の回復を図るために社内改革に着手し、組織整備、人材配置、企業風土の改革を実行してまいりました。また、マーケティング戦略の見直しと店舗販売を中心とする販売力の強化により、売上拡大を図ってまいりました。その結果、化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業の売上・利益は増加し、また、その他事業については赤字額が縮小するなど、ほぼ計画通り進捗しております。

第二次中期三ヶ年経営計画の策定

引続き成長を維持しながら、さらなる収益性の回復を図るため、CCプランの最終年度となる平成19年３月期を初年度とした「第二次中期三ヶ年経営計画（CCプラン Phase 2）」を新たに策定いたしました。当プランでは「着実な利益成長を遂げる」をテーマとし、毎期確実に売上を拡大しながら同時に収益性の改善も図り、最終年度となる平成21年３月期には過去最高売上・利益の達成を目指します。また、長期的な成長を支えるための構造強化・基盤整備にも注力します。

各事業の戦略

化粧品関連事業は、機能性を重視した市場競争力のある製品開発を進めてまいります。主力の基礎化粧品はブランドの再構築を行い、敏感肌市場でのシェアの拡大を図ります。

栄養補助食品関連事業は、高付加価値製品の開発を推進します。美容補助食品の強化を図るとともに中高年層を対象とした製品開発を進めてまいります。

その他事業は、収益事業への転換を図ります。発芽米事業、青汁事業は、製品ラインナップの拡充により売上拡大を図り、黒字化を目指します。いいもの王国通販事業は、商品力の強化と経費削減により、収益率の改善を図ります。

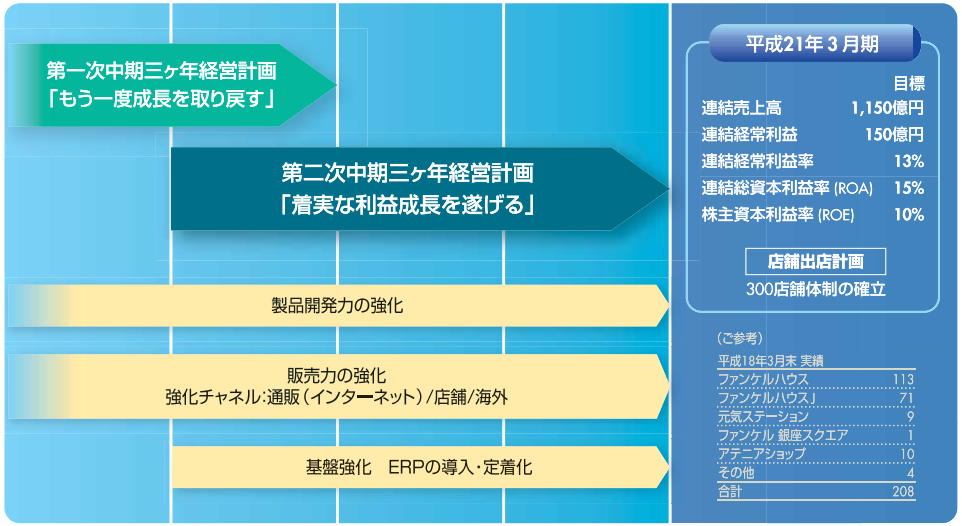
販売チャネル戦略

店舗販売、海外展開、最も収益性の高いインターネット販売を強化し、各チャネルによるシナジー効果の顕在化を図ります。店舗については、店舗スタッフの教育を含めた質の維持向上を優先事項とするため、当初平成19年３月期までを予定していた300店舗体制を２年先送りし、平成21年３月期までの確立を目指してまいります。海外展開は中国市場の開拓に注力します。インターネット販売は、処理能力の拡大、新サービスの投入により売上の拡大を図ります。

以上の諸施策を実行し、ファンケルグループの企業価値の最大化に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

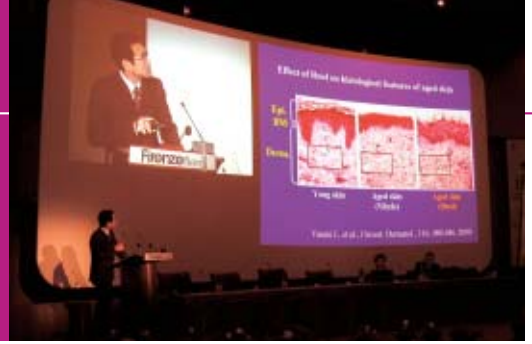
第二次中期三ヶ年経営計画

FANCL Change & Challenge Plan Phase2



■特集

老化と闘う！理想のエイジングケア成分「シリビン」



画期的な新機能成分が、内外美容による新たなアンチエイジングの世界を可能に

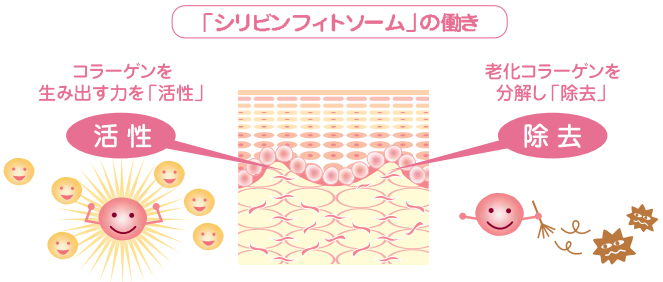
昨年イタリアフローレンスで開催されたIFSCC（国際化粧品技術者会連盟）の中間大会において、当社研究員が「シリビン（マリアアザミエキス）の皮膚老化防止作用」について研究の成果を発表しました。当社は、長年にわたる新しいアンチエイジング素材（しわ対策）研究の結果、マリアアザミの種子から抽出した「シリビン」に高い効果があることを発見。さまざまなアプローチでその効果を検証し、そしてついに平成17年12月、美容液「ファンケル ビューティ コンセントレート」とビューティサプリメント「ブライトエイジEX」を発売いたしました。新機能成分「シリビン」が製品化されるまでの道のりを紹介します。

肌にやさしいアンチエイジングを目指して

今から６年ほど前は、世間ではしわに対して有効であるとされる「レチノール」配合のアンチエイジング化粧品が大人気でした。お客様からの要望も多く開発を始めたのですが、レチノールは効果が高い半面、肌に刺激を与える可能性があり、敏感肌の多い当社のお客様には適さないと判断。レチノールと同等あるいはそれ以上の効果を期待でき、肌へのやさしさや安全性をしっかりと兼ね備えた独自の成分を発見すべく研究に着手しました。

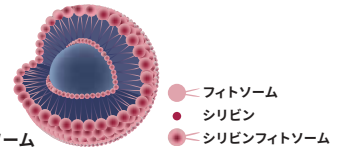
まずはレチノールの作用を把握することから研究がスタート。レチノールは肌の内部のコラーゲンの産生を促進することや細胞老化を抑制させることなどが分かりました。そして安全性を追求するため、100種類以上の植物由来成分を用いて実験を重ねました。探索を始めて２年、ついにレチノールと同様の作用をもつ「シリビン」を発見。さらに驚くべきことに、レチノールにはない老化コラーゲンを除去する作用があることも分かりました。

マリアアザミは、南ヨーロッパ・北アフリカ・アジアに広く分布するキク科の植物。ヨーロッパでは、古くから肝臓を守るとされてきました。

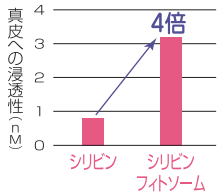


新成分の効果をより高めるための工夫

レチノール以上のアンチエイジング作用をもつ当社独自の新機能成分「シリビン」。その肌への有効性は実証できましたが、一方で「肌の奥へ届きにくい」という効果面での課題と、水にも油にも溶けないため、「化粧品に配合しづらい」という処方面での問題がありました。そこで、欧米で肝機能改善用の医薬品成分として使用されていたシリビンフィトソーム（図１）が使えないかと検証を行ってみたところ、肌への浸透性が約４倍に高まりました。（グラフ １）また、シリビンフィトソームもほとんど水に溶けないのですが、工夫を重ね、この問題も解消できました。こうして、当社はシリビンフィトソームを化粧品に配合することに成功したのです。



【図1】
シリビンフィトソーム



【グラフ1】
シリビンフィトソームの皮膚浸透性

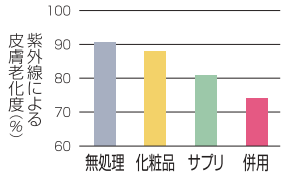
カラダの内と外から～アンチエイジングにダブルで働きかける

当社では以前から「シリビン」をマリアアザミエキスとしてサプリメントに使用していたこともあり、化粧品だけではなくサプリメントにも使える可能性が出てきました。また、肌に対する有効性も報告されていました。シリビンフィトソーム配合化粧品とシリビン配合サプリメントの効果を確かめるための実証試験は３年にもおよびました。特にレチノール配合化粧品との効果比較試験は、東北大学医学部皮膚科と共同で厳密に検証を行いました。そして、多くのモニターの方々のご協力もあり、レチノール以上の効果があることが実証できたのです。

こうして画期的なアンチエイジング化粧品「ファンケル ビューティ コンセントレート」とサプリメント「ブライトエイジEX」が誕生しました。化粧品を肌に塗布することで外から、さらにサプリメントを飲むことで内からアンチエイジングへと導く「内外美容」を具現化したことで、当社にとっても記念すべき開発成果となりました。

シリビンの内外美容効果

シリビンフィトソーム配合化粧品とシリビン配合サプリメントを併用するとより効果的に紫外線による皮膚老化度を抑える。



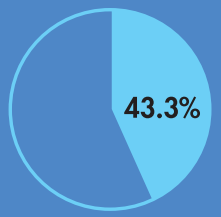
マリアアザミの色を基調としたデザインで内外美容をアピール

VOICE

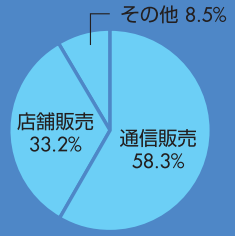
開発プロジェクトリーダー　宮田 智（ファンケル総合研究所・基盤探索研究所・新素材探索グループ）

究極の成分「シリビン」を発見できた瞬間の喜びは、一言では言い表せないものでしたが、そこから製品化にいたるまでの道のりも本当に長いものでした。開発プロジェクトメンバーの熱意も伴って、本当にお客様にとって良い製品ができたと思っています。

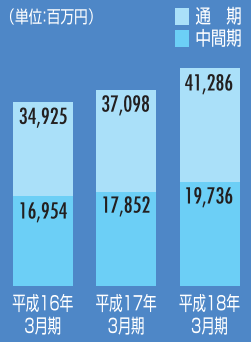
事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



化粧品関連事業

化粧品関連事業の売上高は、41,286百万円（前期比11.3%増）となりました。そのうちファンケル化粧品の売上高は31,406百万円（前期比13.1%増）、アテニア化粧品の売上高は9,518百万円（前期比 5.3%増）となりました。

通信販売の売上高は24,060百万円（前期比5.4%増）となりました。ファンケル化粧品は、限定デザインボトルの発売などにより「マイルドクレンジングオイル」の販売が好調に推移したことに加え、 8 月に「洗顔パウダー」のリニューアル、12月に当社独自のアンチエイジング成分を配合した美容液「ファンケル ビューティ コンセントレート」を発売し、売上高は15,319百万円（前期比6.1%増）となりました。アテニア化粧品は、美容液を中心に基礎化粧品が堅調に推移し、売上高は8,736百万円（前期比4.1%増）となりました。

店舗販売は、既存店が引続き好調に推移し、出店効果もあって、売上高は13,721百万円（前期比19.4%増）となりました。

その他の販売チャネルは、海外向け、コンビニエンスストア向け販売がともに堅調に推移したことにより、3,504百万円（前期比26.2%増）となりました。

ファンケル最高峰のエイジングケア美容液

「ファンケル ビューティ コンセントレート」新発売

５年の歳月をかけて開発したエイジングケア美容液です。コラーゲンの現在・過去・未来に着目し、１本で加齢による肌悩みを複合的にケアします。一般的なエイジングケアはコラーゲンを補うことを目的としていますが、それだけでは不十分。老化コラーゲン（老廃物）を取り除くことが大切です。新機能成分「シリビンフィトソーム」は、新しいコラーゲンを生み出し、老化コラーゲンを取り除くという発想でシルクのようになめらかでつやのある美肌に導きます。

効果を即実感！ホームエステ感覚パック

「インナーアクティブパック」新発売

人気商品の「モイストチャージパック」と「ヨーグルエステシリーズ」を合わせてより進化させた新製品です。細胞液の働きに着目した「アクティブプラス成分」を配合し、パック後の肌のやわらかさ・透明感がアップ。15分間のじっくりパックで肌の奥に眠る水分を引き上げ、肌内部の細胞をうるおします。液だれしないので、お風呂でも使用でき、ごわつき・くすみの２つの悩みを同時に解決します。

アクティブプラス成分のチカラ

効果1　肌表面まで水分を引き上げる
肌の奥からうるおいを引き出す ⟶ ふっくらやわらかな肌に

効果2　肌内部の細胞をうるおす
肌細胞に水分と栄養を与え肌の生まれ変わりを助ける ⟶ 透明感のある肌に

アテニア化粧品

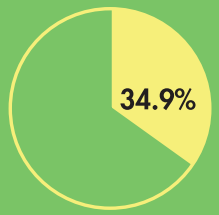
「インナーエフェクターＥＸ」リニューアル新発売

厚い信頼をいただいてきた最高級美容クリーム「インナーエフェクターEX」がさらなるエイジングケア機能を備え、リニューアル。肌の＜産生力＞と＜復元力＞を生みだすマイクロアルゲなど５種類の植物由来成分を配合し、また有効成分を肌のすみずみまで届ける２つの最先端デリバリー技術で理想のエイジングケアを飛躍的に進化させました。かつてないアプローチで肌老化を根本から解決に導くプレステージ美容クリームです。

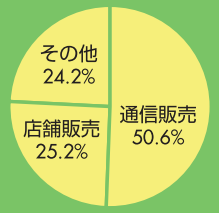
「リフト リンクル セラム」新発売

通常のコラーゲン分子の600分の１まで極小化に成功したアテニア独自成分「ミクロコラーゲン複合体」を日本初配合。コラーゲンをミクロ化して、肌の奥深くまで浸透させながらコラーゲンの質を高め肌の弾力を強化します。しわ・たるみのない若々しい肌へ導くアンチエイジング美容液です。

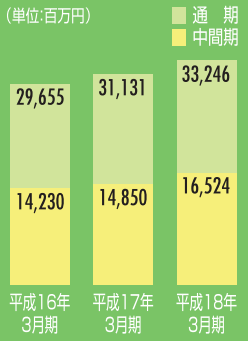
事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



栄養補助食品関連事業

栄養補助食品関連事業の売上高は、33,246百万円（前期比6.8%増）となりました。

４月に独自成分を配合した「HTCコラーゲン」、12月に内外美容の観点から化粧品と同じアンチエイジング成分を配合した「ブライトエイジEX」を発売し、美容補助食品の強化を図りました。また注目の成分「α-リポ酸」を６月に発売しました。

通信販売は、「コエンザイムQ10」が好調に推移したことに加え、「α-リポ酸」や「HTCコラーゲン」、「ブライトエイジEX」などの新製品効果により、売上高は16,822百万円（前期比0.7%増）となりました。

店舗販売は、栄養補助食品の売上構成比の高いファンケルハウスJの出店や業態変更を推進したことに加え、既存店の売上も好調に推移した結果、売上高は8,393百万円（前期比17.0%増）となりました。

その他の販売チャネルは、取引先数が増加したことにより、8,030百万円（前期比10.8%増）となりました。

トリプルステップでアンチエイジングにアプローチ

「ブライトエイジＥＸ」リニューアル新発売

年齢を感じさせない美しさのために、当社が独自に研究し、新たな機能性を発見した「シリビン」「HTCコラーゲン」「大豆サポニン」の３成分を厳選配合。アンチエイジングを力強くサポートする美容成分の相乗効果で、いつまでも若々しく美しくありたい女性を応援するサプリメントです。

ヒアルロン酸をつくる力をアップする

「アクアモイスト」新発売

肌の乾燥をケアするため、補うだけではなく、肌の内側のヒアルロン酸の量を増やすという新発想サプリメント。当社独自の配合成分「リュウガン果実エキス※」でヒアルロン酸の合成力を飛躍的に高めます。さらに２つの機能成分との相乗効果でうるおいに満ちた肌を目指す乾燥対策サプリメントです。

うるおいを高めるトリプル保湿

- 「リュウガン果実エキス」うるおうチカラをパワーアップ！
- 「セラミド」うるおいをキープ！
- 「グルコサミン&N-アセチルグルコサミン」うるおいのもとをチャージ！（特許第3615397号）

※リュウガン果実エキス

リュウガンは、ライチの仲間で、中国などで古くから食されているアジアンフルーツ。そのエキスは、ヒアルロン酸の合成を体内で促進させる働きがあることをファンケルが発見しました。（特許出願中）

サビに働く注目の力

「アスタキサンチン」新発売

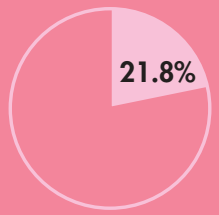
アスタキサンチンは、魚介類や藻類などに含まれる赤い色素。そのパワーは、老化の原因といわれる身体のサビに働くビタミンEの約1,000倍といわれています。アンチエイジングや美容をはじめ、「考える」「見る」健康にも驚異の力を発揮することが期待されています。

おなかからすっきり・キレイに

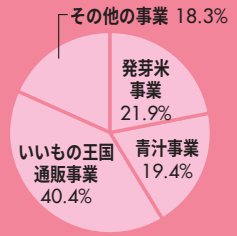
「すっきりケア」新発売

「すっきりしない」「おなかが張る」「ぽっこり出る」など、多くの女性が気にしているおなかの渋滞トラブル。すっきりケアは腸内環境を集中的にケアするドリンクです。平成16年より食品での使用が認可された酸化マグネシウムのほか、難消化性デキストリン、キシロオリゴ糖の成分が、腹痛を伴うことなく、おだやかに働きかけ、くせになることがありません。ピーチヨーグルト風味で飲みやすく、砂糖不使用なので、カロリーが気になる方にもおすすめです。

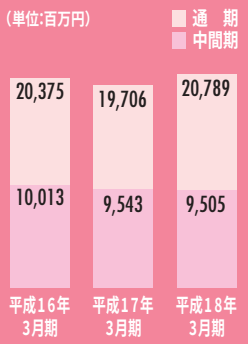
事業別売上高構成比



セグメント内
売上高構成比



売上高



その他事業

その他事業の売上高は、20,789百万円（前期比5.5%増）となりました。

発芽米事業は、10月に新製品「おいしい発芽米 ふっくら白米仕立て」を発売しましたが、従来品の落ち込みをカバーできず、売上高は前期を下回り、4,549百万円（前期比9.5%減）となりました。

青汁事業は、ツイントース配合の粉末タイプの売上が好調となり、また、7月より冷凍タイプの高付加価値製品「スーパー青汁 ツイントース配合」の販売を開始した結果、売上高は前期を上回り、4,029百万円（前期比14.3%増）となりました。

いいもの王国通販事業は、ミズノ株式会社と共同開発したウォーキングシューズや健康器具の販売が好調で、売上高は8,403百万円（前期比17.5%増）と、前期を上回りました。

来期以降は、発芽米事業・青汁事業は、製品ラインナップの拡充により売上拡大を図り、黒字化を目指します。いいもの王国通販事業は、収益率の改善を目標とし、商品力の強化により売上拡大を図ってまいります。

高い栄養価とおいしさを両立

「おいしい発芽米 ふっくら白米仕立て」新発売

玄米を少しだけ発芽させ、栄養価・使用性・食感が飛躍的に向上した発芽米。その栄養をできるだけ守りながら、白米のような食感・炊き上がりを実現した五分づきの発芽米が「おいしい発芽米 ふっくら白米仕立て」です。栄養価の高い発芽米は魅力があるが、白米の味が好きという方におすすめです。

ファンケルパートナー　原　辰徳

青汁と豆乳のパワーをおいしく手軽に摂れる

「青汁豆乳飲料 ツイントース®配合」数量限定発売

ファンケルパートナー　原　辰徳

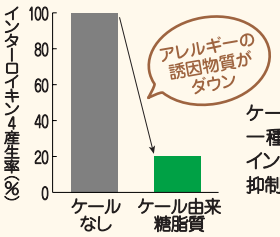
1本で“ケール”と“大豆”の2つの優れた栄養をおいしく手軽に摂れるドリンクです。ケールは、国内の契約農家で化学農薬を使用せずに、栄養バランスを整えるミネラル農法※で栽培されたものを使用。さらに、カルシウムをはじめとしたミネラルの吸収とイソフラボンの働きを高める当社独自の成分「ツイントース®」を配合しています。

※ミネラル農法

精密な土壌診断を行い、必要な栄養分を把握し、肥料の追加はその分析結果に基づき行います。微量ミネラルにこだわった栄養バランスのとれた土壌では、ケールの根がしっかり張り、葉もすこやかに育ち、栄養価の高いケールが誕生します。

学会発表

平成17年10月に岩手県盛岡市で開催された第55回日本アレルギー学会にて、ケールが花粉症などヒスタミンを介したアレルギー反応の抑制に働く可能性があることを発表いたしました。免疫反応をリアルタイムで観察し、有効性を確認できたのは初めてのことです。



ケールに含まれる糖脂質の一種が、花粉症を誘発するインターロイキン4の産生を抑制します。

※当社研究所調べ

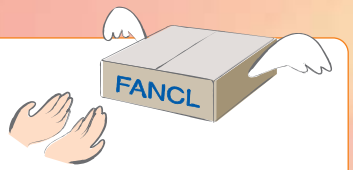
TOPICS

医師・医療従事者のためのサプリメントを発売

平成18年２月、当社は医家向けサプリメント「FANCL CLINICAiD」（ファンケルクリニケード）シリーズの第一弾を発売いたしました。これまでも医療関係者にサプリメントへの理解をもっと深めていただこうと平成15年には学術部（現学術本部）を設置し、SDI（サプリメント・医薬品飲み合わせ）システムの構築・運営、セミナーなどの企画運営、学術的質問への対応、書籍による啓蒙活動を行ってまいりました。このような背景から臨床的な根拠のしっかりした「安心・安全」なサプリメント「ファンケルクリニケード」を開発し、（株）バイオマーカーサイエンスが医療機関への導入を進める予防医療を目的とした診察事業「アンチエイジングドック」を通じて販売をしています。

「健康補助食品GMP適合認定」を取得

ファンケルグループの製造部門である株式会社ファンケル美健（連結子会社）の横浜工場が、平成17年10月11日に健康補助食品GMP（Good Manufacturing Practice）適合認定を取得いたしました。GMPは適正製造規範のことで、高品質の製品を確実に製造するために必要な事項が手順化されています。本制度は平成17年４月１日に申請受付を開始し、サプリメントの製造・販売を手がける大手メーカーでは当社が初の取得となりました。



時間帯指定配達をスタート

当社の通信販売で、従来の「置き場所指定お届け※」・「お届け日指定」サービスに加え、「時間帯指定お届け」がスタートしました。これにより午前中、正午から午後10時までは二時間おきと、細かくお届け時間をご指定いただけるようになりました。世の中における“不”の解消に挑戦するのが当社の企業活動の原点。今後もお客様の声に耳を傾け、“不”を解消してまいります。

※置き場所指定お届け
玄関前、ガスメーターボックスなどご指定いただいた場所に受領印不要で商品をお届けするサービス。

「CSRレポート2006」を発刊

ファンケルグループでは、昨年の「社会環境活動レポート」を発展・充実させた「CSRレポート」を発刊いたしました。このレポートでは、当グループの社会貢献や環境保全を中心としたCSRの取組みを分かりやすく報告しています。お客様や株主・投資家のみなさま、お取引先、地域社会、従業員といったステークホルダーのみなさまとの対話により、一層質の高いCSR活動を実践していきたいと考えております。

株主優待

当社は、年１回・毎決算期現在100株以上をお持ちの株主のみなさまに対して株主優待を実施しております。

今年は、『１万円相当の当社製品』
『ファンケル 銀座スクエア ご利用券１万円分』
『社会福祉法人「訪問の家」（横浜市栄区）に対する寄付』
のいずれかをお選びいただけます。

詳しくは同封の「株主優待のご案内」をご覧ください。

■業績（連結ベース）

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目	前期 平成17年3月31日現在	当期 平成18年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	39,079	44,965
現金及び預金	17,380	19,247
受取手形及び売掛金	8,713	8,977
有価証券	4,926	8,625
たな卸資産	5,663	6,680
その他の流動資産	2,395	1,436
固定資産	40,336	40,182
有形固定資産	26,533	25,793
建物及び構築物	12,781	12,486
その他の有形固定資産	13,752	13,307
無形固定資産	1,222	1,516
投資その他の資産	12,579	12,871
投資有価証券	1,954	2,026
長期貸付金	659	696
保証金	2,526	2,715
その他の投資その他の資産	7,438	7,432
資産合計	79,416	85,147
（負債の部）		
流動負債	10,457	11,929
支払手形及び買掛金	3,049	4,007
その他の流動負債	7,408	7,921
固定負債	2,754	1,812
負債合計	13,212	13,742
（資本の部）		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,846
利益剰余金	51,172	55,326
その他有価証券評価差額金	26	66
為替換算調整勘定	△4	△4
自己株式	△7,492	△6,624
資本合計	66,203	71,405
負債・資本合計	79,416	85,147

連結損益計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	当期 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日
売上高	87,937	95,322
売上原価	30,031	33,239
売上総利益	57,905	62,082
販売費及び一般管理費	52,476	53,507
営業利益	5,428	8,574
営業外収益	770	1,023
営業外費用	709	485
経常利益	5,490	9,113
特別利益	57	24
特別損失	1,181	622
税金等調整前当期純利益	4,366	8,514
法人税、住民税及び事業税	2,532	2,954
法人税等調整額	124	376
当期純利益	1,709	5,183

連結剰余金計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	当期 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	11,706	11,706
資本剰余金期末残高	11,706	11,846
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	50,528	51,172
利益剰余金増加高	1,709	5,219
利益剰余金減少高	1,065	1,065
利益剰余金期末残高	51,172	55,326

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	当期 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,637	9,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,807	△10,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,090	△21
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	5	—
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,253	△1,139
現金及び現金同等物期首残高	23,561	22,307
現金及び現金同等物期末残高	22,307	21,167

■会社情報（平成18年３月31日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年８月
資本金	10,795百万円
従業員数	626名（パート・嘱託は除く）
主な取引銀行	三菱東京UFJ銀行 みずほコーポレート銀行 三井住友銀行

役員（平成18年６月17日現在）

○印 代表取締役
＊印 取締役

○社長執行役員	藤原　謙次
＊専務執行役員	余頃　康之
＊常務執行役員	宮島　和美
＊常務執行役員	中島　純也
＊常務執行役員	針谷　吉典
＊常務執行役員	奈須野　俊廣
＊常務執行役員	西川　満
＊取締役	成松　義文
＊執行役員	池森　行夫
＊取締役	早川　吉春
＊取締役	岩倉　正和
執行役員	芝　正二
執行役員	辻　智子
執行役員	村上　晴紀
執行役員	龍地　敏典
執行役員	片瀬　信郎
執行役員	山口　友近
執行役員	加瀬　敬広
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊
常勤監査役	山田　鯛二
常勤監査役	池田　文子
監査役	小関　勝紀
監査役	飛島　章

（注）1. 取締役の早川吉春、岩倉正和の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および飛島章の４氏は、社外監査役であります。

連結子会社一覧

会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年２月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
ニコスター（株）	横浜市栄区	10百万円	昭和59年９月	100%	化粧品の製造
（株）いいもの王国	東京都渋谷区	196百万円	昭和37年12月	81.6%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年８月	84.6%	発芽米の製造
FANCL ASIA (PTE.,) LTD.	シンガポール	875百万円	平成12年３月	100%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	100百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造

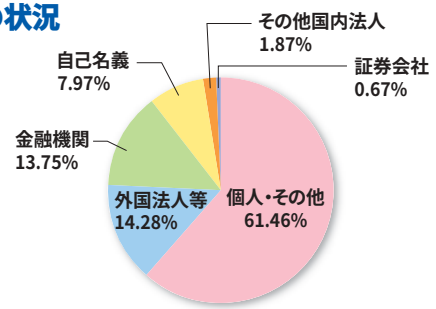
■株式情報（平成18年３月31日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証１部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	26,303名

平成18年４月１日をもって１株を３株に分割いたしました。これにより会社が発行する株式の総数は155,892,000株増加して233,838,000株に、発行済株式の総数は46,784,400株増加して70,176,600株となっております。

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	３月31日
定時株主総会	６月中
期末配当基準日	３月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店
公告の方法	電子公告（当社ホームページ　http://www.fancl.co.jp）

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

0120-288-324（フリーダイヤル）　インターネットアドレス　http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

株式会社ファンケル
横浜市中区山下町89-1 〒231-8528
Tel. 045-226-1200（代表）
www.fancl.co.jp
当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

「ツイントース」は
株式会社ファンケルの
登録商標です。

古紙配合率100%の
再生紙を使用